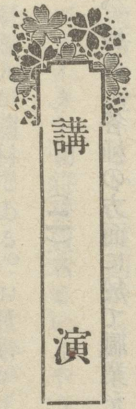


かたをなみ	賛助員	山下	さい	三四
すくすくと	み	な	み	二六
かろがろと	文科一部三年	齋藤	加津	二六
(隨筆)				
一 輪草	わ	か	な	三七
笠井さまに	み	な	み	三九
偶 感	破			常
日誌の中より				四二
報				
第二十八回文科學術談話會記事				四七
庶務報告(退會者氏名)				四七
第七回會計報告				四七
交 詢				
母校だより				四八
彦根より	賛助員	竹田	倭子	四九
三原より	賛助員	筒井	たか	五一
宮崎より	賛助員	長谷川	すが	五四
水戸より	賛助員	竹尾	恵子	五五
編輯だより				五六

# 文科學術談話會々誌 第八號



## ◎婦人の將來

本校講師 文學士 保科 孝一

婦人の將來といふ題でお話ししようと思ふが、然し別に哲學上からやかましく論ずるつもりではない。只歐米に於ける觀察につけ加へて所感を述べて見たいといふ丈の事である。婦人の將來はごうなり行くものであらうかと言つた所で、婦人が男子に變るわけではないから、婦人は依然として婦人であるけれども、婦人は依然として婦人としてその將來はごうなるものであるか。一つの問題で、歐米に於て所謂婦人問題なるものが種々の方面から到る所で攻究せられてゐるのである。しかしその婦人問題についてお話しするつもりではないので、今お話ししてみようと思ふのは、教育者としての婦人の將來と學者としての婦人の將來についてである。

現今歐米に於ける一大問題は職業上婦人と男子との競争である。第十九世紀から第二十世紀にかけて婦人の職業が各種の方面に於て大に増加したことは著しい事實である。日本に於てもやはりその通りで、維新前迄は男子は外で働き婦人は内にあつて家を治めるといふのが一般の習慣であつた。しかるに社會が進むに従て婦人に適した職業が追々あらはれてきた。近く例をあげてみると、電話の交換手であるとか、逓信省貯金管理局の屬官並に傭であるとか、停車場の切符發賣者であるとかいふやうな職業に、婦人の採用せられるものが我が國に於ても益多くなつてきた。電話交換手の如きは世界を通じて婦人の占有するところとなつてゐる。我が國に比すると歐米諸國に於ては近來益婦人に各種の職業を興へる風が盛んである。タイプライターの如き殆ど婦人の職業となつた。勸工場や商店の賣子なども殆ど婦人の占有するところとなつてゐる。我が國に於ても最近迄全然婦人を近づけなかつた俳優も今では女優といふものが出來て、男優と相並んで舞臺にのぼるやうになつたのである。

## (一)

かくの如く、婦人が各種の方面に於て職業を求め得るやうになつたについては種々の原因があるが、その第一は經濟關係である。婦人の所得は男子に比すると遙に少ない。即ち低廉なる所得によつて就職するのであるから經濟を主とする方面に於ては喜んで婦人を傭ふ傾向を生じて來た。男子

よりも女子を選ぶやうになつて來た許でなく、從來使用してゐた男子をやめて女子をもつてこれにかふる風が盛んになつて來たのである。その第二は女子は一般に細心で緻密でしかも職務に忠實である。適材を適所に置くといふ原則からみると、女子が適材として働くべき職業が澤山ある。電話の交換手タイプライター切符發賣者といふやうな者は婦人が適材である。勸工場や商店の賣子に至つては更に一層婦人が適材である。お世辭がよくて親切で丁寧でつひ餘計なものまで買ふやうになる。殊に歐羅巴の婦人を相手に品物を賣る場合には非常な忍耐を要するので、男子は到底これに耐へきれまいと思はれる。といふのは、婦人が靴を一足買ふのに三十分や一時間ではすまない。早く二時間位はかゝるやうである。色々の靴を出させ、それを穿いてみたり脱いでみたりたつてみたり座つてみたり、それから姿見の前を少し歩いてみる。それから元の席に座つて暫く考へ、それで買ふのかと思ふと外のみせてくれといふ。そんな工合で何十足も出させて漸く買ふ。中には二時間も厄介をかけて揚句の果が氣に入つたのがないからいづれ又といつて歸つてゆく。固より賣物買物であるから止を得ないが、この役は男子では一寸むづかしい。帽子などになると一層隙がかゝる。婦人の帽子は毎季節に流行が變る。流行につれて種々のものがあらはれるが、それが似合ふか似合はないかは人人によつて違ふ。身体の瘦せ工合太り工合脊の高低顔の形それからその人の身分や年齢によつて違ふわけである。それ故帽子を買ふのに婦人の苦心するのは非常なものである。勸工場

なごに來て帽子を買つて居るのをみると可笑しいやうである。多くは三二人友人をつれて來て批評して貰ふ。三人の意見が一致すれば簡單にすむが、併しこの批評が中々むづかしい。一人がよく似合ふといふと他の二人はこれを否定する、三人がよいといつても肝心な當人の懐が承知しないといふやうなわけで、いよく買ふと決するまでが容易でない。帽子や靴は比較的金目のものであるからかく苦心するのも尤と思ふが、随分些細なものでも容易に買はない。これは買ふ方にも理屈があるので、帽子の如きは毎季節によつて變るからその似合つたものを被ると否とは交際場裡に出た場合に大層な違がある。交際場裡などに没交渉な中等社會以下の婦人になると、季節毎に帽子を新しく買ひ求めることは容易でない。一つ買へば先づ二三年はそれで辛抱せねばならぬから、念に念を入れて將來のことも考へて買ふのである。かういふ客を相手に賣るのは容易でない。つまり辛抱比べてある。少しでも面倒な顔をすれば決して買はない。賣子には獎勵法があつてその賣上高が一定の標準を超過すると俸給に割増が来るし、又増給も早いのであるから、賣子は客をつかまへたら賣らずに歸すまいと苦心する。こんな掛引と辛抱は男子は到底婦人に及ばない。それ故これまで男子を賣子に使つて居た商店でもそれを解僱して女子に代ふるといふ風が益盛んになつて來たのである。

## (三)

右のやうな有様になると自然の結果として男子と女子との間に競争が起つてくるわけである。女子が各種の職業に就くに從つて男子の遊民徒食者が勢ひ増加することになるから、男子は女子に對して反感を抱き、女子はこれに對抗するといふやうになつて、それが重大な社會問題を惹起して居る。英吉利に於ける婦人參政權問題の如きその一例である。婦人の主張に曰く我等は男子と全様に租税を納め國家に義務を盡して居るのであるから、男子と同様國政に參與する權利を獲得するのが當然であるといふのである。一應は尤ものやうに聞えるが、しかしそれは婦人の本分を忘れたもので健全な思想を有する一般の婦人社會は固より一笑に附してゐる。佛蘭西のアタンといふ新聞が上流の貴婦人を訪問して參政權問題について意見を徴し連日紙上に掲げたことかあるか、殆ど總てがかゝる權利を主張するのは婦人の本分を忘れたもので婦徳を傷けること甚だしいものであるといふ意見であつた。それで歐羅巴の大陸には婦人參政權の問題は起つてゐないので、今日の所英吉利と合衆國に限られてゐるやうである。兎に角右のやうに婦人も男子に對抗して種種の運動を企てるので、男子はいろいろに婦人を罵倒してゐる。ロンドンでは日曜にハイドパークで婦人か參政權の大道演説をしてゐるが、その周圍に男子が群集して冷評を加へる。しかし沼々論じつめて有髯男子をして顔色なからしめる。中にはその婦人の面に腐つた卵子などを擲つ者があるが少しも屈しないで懸河の辨を振つてゐる。獨乙の新聞などには男子が女子を罵詈した投書がよく載つてゐる。われわ

れの職業が日に日に婦人に奪はれて孤城落日の感があるが、しかし兵隊がわれ／＼男子の占有であるのがせめてものであるといふやうな投書を見たことがある。それで女子の方でも負けてゐないで男子に一步もゆづらないといふ意氣込みで活動してゐる。

## (四)

歐米に於ては今や男子と女子とが職業に對して盛に競争してゐるか、これも將來どうなりゆくものであるかは今日のところ判定に苦しむのである。一千九百十二年の春ベルリンに婦人博覽會が催されたがこれは「家庭及び職業に於ける婦人」といふ題目で設備せられたのである。即ち家庭及職業に於ける婦人の實力を有形的に社會に示さうといふのが目的であつた。この博覽會が四部に分かれ第一部は「家庭に於ける婦人」といふ題目でそれが更に八區に分れてゐた。即ち一、貴族的家庭二、市民的家庭、三、勞働者の家庭、四、家政に於ける婦人、五、都市及村落に於ける生産者としての婦人、六、家事經濟衛生に於ける婦人、七、村落に於ける婦人、八、殖民地に於ける婦人である。第二部は「職業に於ける婦人」で十四區に分れてゐた。九、工業及び手細工に於ける婦人、十、商業及交通に於ける婦人、十一、看病人としての婦人、十二、社會的事業に於ける婦人、十三、婦人獨乙婦人協會の事業青年會の集會所、十三、教育及教授上に於ける婦人、十四、婦人の研究所圖書館員としての婦人、十五、美術家としての婦人、十六、工藝家としての婦人、十七、彫刻家として

ての婦人、十八、音楽家としての婦人、十九、文學者としての婦人、二十、新聞記者としての婦人、二十一、俳優としての婦人、二十二、園藝家としての婦人、第三部「交際社會に於ける婦人」でこれが二十三から二十五迄區分せられ、第四部は「公私の關係に於ける婦人」でこれが七區に分れてゐた。即ち、二十六、蒐集家としての婦人、二十七、旅行上の婦人、二十八、外國に於ける獨乙婦人、二十九獨乙に於ける外國婦人、三十、俱樂部に於ける婦人、三十一、遊戯及体育に於ける婦人、三十二、獨乙婦人協會保護者の特別展覽といふやうな分類によつて社會に於ける婦人の實力を有形的に示したので、その設備も整頓し流石に獨乙であると感じしたが、それと同時に婦人の實力を有形的にみてその偉大なことに驚いた。この博覽會を機として婦人會議も催され、約一週間にわたつて種々の問題が討議されたのであるが、博覽會は勿論これらの會議は一切婦人の手によつて計畫せられ少しも男子の補助を借らなかつた。

以上の分類をみると「兵營に於ける婦人」「軍艦に於ける婦人」「航海業者としての婦人」といふやうなものが缺けて居る丈で、凡ての方面に於て男子と競争することが出来る。近來は飛行家としての婦人もあらはれて來た。婦人の活動區域は將來ますます擴がるばかりである。

## (五)

婦人の職業はかくの如く増加して男子との競争を餘義なくせられる状態に立至つたのであるが、

これが一大問題である。今日の所世界各國小學校に女教員が採用せられて居る所が多いやうであるが、小學校に於ける女教員の成功はいふまでもなく、なほ進みて中等程度の學校や師範學校に於ても女教員が適材として認められて居るとも明らかである。只こゝで問題になるのは高等女學校の教員としては論はないが、校長としてどうかといふことである。獨乙に於てはもと高等女學校に女校長が澤山あつたが、今日では公立學校に専ら男子を校長とするやうになつて、おひ／＼女校長が少くなつて來たのである。これについては女子も快く思はないとみえ、新聞に投書して女子でも高等女學校の校長として立派にやつてゆけるといふことを論じてゐる。シャールロテンブルグの二高等女學校の校長が婦人であるが、本校の外二つの分校を管理してゐるが、ある人が參觀に行つたら自分は校長として立派に職務を盡してゐる。女校長の不適任を唱へるものがあるのは甚だ怪しからんと言つて大に氣焔を吐いたやうである。しかし獨乙で女校長の排斥せられるのは次席の男教員と衝突する場合が多いからであるが、若し一切男教員を高等女學校に採用しなければかゝる衝突は起るまい。何ういふ理由か知らんが獨乙の公立高等女學校には男教員が並用せられて女教員のみどころは見受けなつた。しかるに佛蘭西や英吉利には女教員のみで固めた高等女學校が澤山ある。佛蘭西はむしろそれが普通で男子の校長はない。男子の教員も或る特別な場合でなければ備入れないやうである。自分のみた里昂の一高等女學校の校長は實に立派な人であつた。随分大きな學校で學級

も多いといふことであつたがそれを管理して少しも不都合を生じてゐない。尤も佛蘭西の學制は他とは少し違ひ、全國を十七大學區に分け各學區に大學があつてその總長が區内の中學校及高等女學校を管理することになつてゐる。故に中學校や高等女學校に校長といふ名義がない。その校長は大學總長であるわけであるから、實際學校の事務を取扱つて行くのは、プロウヰズルといふ言はゞ事務扱と言つた形のものがある。しかしこの事務取扱が事實上の校長であるが、とにかく婦人のみで立派に學校を持つて行けるのである。最近巴里に高等女學校が設置されたがその管理者が婦人たること勿論である。英吉利の高等女學校にもすべて婦人のみで固めた學校がある、自分の參觀したのは主に上流社會の令嬢が入學し、からケンブリッジやオクスフォード大學へ行かうといふので中々進んだ學校であるが、その校長は六十ばかりの婦人で中々立派な意見を有してゐるのに驚いたのである。斯の如く婦人といへども立派に校長として學校を管理して行けるのである。我邦では私立學校の外公立學校の校長としてまだ婦人が採用されないが、しかしそれが將來に於ける大問題であらうと思ふ。

## (六)

教員として婦人の適當なることは言ふまでもないが、その他一般の教育事業と婦人の手腕を振ふべき餘地は随分廣い。伊太利のモンテスリーは感覺教育に一新紀元を開いて夫人の名は今や世界に

鳴り響いてゐる。伯林にペスタロッヂフレーベル館といふのがあつて、幼稚園保姆養成所等の外幼児を預つて保護し或は就學兒童を集めて復習をしてやるといふやうな事業を經營してゐるが、この經營はすべて婦人の手によるのである。又感化事業について婦人の經營してゐるものも少くない。勞働者の哺乳兒幼兒を朝六時から晚六時まで預つてやるとか勞働者の子弟にして就學してゐるものを放課後午後六時頃まで預つて、復習を授けたり教育的遊戯を教へたりしてゐるところが澤山あるが、それらは大抵婦人の手によつて經營されてゐる。又西洋では少年保護の事業が頗る盛である。義務教育を終へるのが獨乙では滿十四手であるが、その後一定の職業を獲るまで數年間は少年の最大危険時期である故に、相當の方法を設けて之を保護するにあらずんば墮落するものか非常に多い。歐羅巴における少年犯罪者か年に増加し十八九才から二十四五才の間に非常な犯罪をやるものがある。巴リの自動車強盜ピストル強盜などは三十以上のものが少しくして多くは十八九才から二十四五才までのものである。故に學校卒業後數年間は大にこれを保護する必要があるのである。少年保護事業は獨乙に於てはよく整頓し、一般に行き渡つてゐるが、英佛は遙に及ばない。而して獨乙に於ける少年保護の事業をかくの如き程度にすゝめたのは全く婦人の力である。してみると教育上直接間接に婦人の努力の強大なることは否定すべからざること、なほ以上に列擧した外教育的少年文學や各種の教科書にして婦人の手になつてゐるものが少くない。我邦に於てはまだ、西洋のやうな

譯に行かないがしかしそれ丈婦人の手腕を振ふべき餘地が多いので將來はきはめて幸福である。

## (七)

次に學者としての婦人はどうかといへば、或は教育家としてよりは一層幸福なものであるまいか。我邦に於ても平安朝の文學が婦人の掌中にあつたことを見ても分る。西洋にも文學者として世界的な人の多いことは今更言ふまでもあるまい。唯疑問としてゐるのは科學者として女子が適するかどうかといふことであるがそれも杞憂である。この方に之れまで女子として活動したものが少かつたのであるが、しかし少いといふことが決して不適當であるといふ譯ではない。ラヂウムを發見したのはキュリー夫人である。婦人と雖もかゝる大發見をなし得ることは一切を證明して餘りありと思ふ。今日のところでは婦人にして大學教授たるものがまだ歐羅巴にはないやうであるが、しかしこれも婦人として専心學問に志したものが少いからである。今日では醫學法學哲學などのドクトルが漸次あらはれて來たのであるから、將來は必ず婦人の大學教授があらはれるに相違ない。嘗てロンドンの一師範學校を參觀したことがある。校長はロンドン大學教育學教授ジョンアダムスといふ有名な教育家で、その下に副校長が二人ある。その一人は男子でナンとなふ人、他の一人は婦人でバンネットといふ人である。このバンネットといふ人はロンドン大學でバッチェロル、オフ、アーツの學位を取つた人で、師範學校で教授法を擔當してゐる。この人の教授を一時間參觀したが、學級は

男女混合でそれを練つて行くところが中々うまいものだと思つた。日本でも東北大學に三人の女子が入學したさうであるが。これは眞に結構なことで將來ますます婦人の發展する天地が廣くなるであらう。

研究所の助手として婦人の働いてゐるものは歐羅巴に於て近年ますます多くなつて來てゐる。各大學に種々の研究室があるが、そこで助手として主任の教授を助けてゐる婦人が中々多い。ハンブルクに實驗聲音學の研究所があるが。そこも婦人の助手が忠實に働いてゐたかういふ學術研究の方面で將來ますます婦人が活動するやうになることゝ確信する。

## (八)

以上の如く將來婦人が教育上及び學術上に活動すべき機運がますます盛になるのは明である。その一班は伯林の婦人博覽會が有形的に之を證明して餘あると思ふ。しかし將來婦人が大に教育上及び學術上に活動せんとすれば豫め用意すべき二つの必要な條件がある。その第一は學力を大に増進することである。將來我邦の公立高等女學校の校長として婦人の採用せられる時機が到來するに相違ないがその場合に校長として立派に學校を管理し、部下から多大の尊敬を受けると同時に生徒からは慈母恩師として崇拜せられるのは、崇高な人格とともに學殖が豊富でなければならぬ。男子の校長と肩を並べて一步もゆづらぬ覺悟がなければならぬ。最近巴里に設立せられた一高等女學校に

校長たるものは、何某夫人を措て外にないと云ふのが一般の輿論であつた。しかしどうした譯か任命が手間取つてゐるので、或日のこと或る夫人がその何某夫人を訪ねて、「今度設立になつた高等女學校の校長はあなたでなければ外にないといふのが輿論でございます。ところが任命が延びてゐるのは何か事情のあることでせうが、あなたは大統領の御近親であるし總理大臣兼文部大臣とも御縁戚の御間柄と伺つて居ります。あなた一言御希望をその邊に御漏しになればすぐ任命になることゝ存じますか」と話したところが、その何某夫人がこれに答へて「御思召はまことに有りがたう存じます。校長として自分が候補者になつてゐることは薄々存じてをります。自分でなければならぬといふことで御推選に與れば何處までもやつて見る積ですが、自分から運動することは思も寄らぬことで御座います。若しあの學校に自分が校長として任命せられなければ、それは自分の學力と材幹が足らぬためと存じますから一層勉強致す積で御座います」と答へたことを聞いて、その抱負の大なることに深く感じたのであつた。この夫人は數學の世界的偉人アンリーポアンカーンの親戚のものでやはり數學の大家である。日本に漫遊に來る準備中にこの校長問題が起つて漫遊を中止したことを聞いた。つまりこの夫人のやうに抱負を大にし學力を豊にして進めは、學校長として立派に成功することが出来るのである。一躰女子は男子に比して學力が劣るといふ評があるが、これは躰力とか家庭に於ける事情とか種々の障害があつて男子の如く潛心勉強する餘裕が少いといふことが原因

をなしてゐるので先天的にその傾があるとは考へられぬ。次ぎに体格を強壯にすることでこれは學力を増進すること、相並んで最も必要な條件である。一跡獨乙あたりの小中學の教員が教室に於ける努力は實に目さましいものである。小學教員は毎週二十七八時間から三十時間を受け持ち、中學程度に於ては毎週十七八時間から二十三四時間を受持つやうになつて居るが、その毎時間教授上の努力は素晴らしいものである。汗を拭きながら發音の練習をやつてるのも度々見受けた。教授法の秘訣は教師まづ活動し更に大に兒童を活動せしめるにあるのである。しかし大に活動するには勢ひ体格が強壯でなければならぬ。西洋の婦人を見るとその強壯の點において敢て男子に一步を譲らぬで日本とは甚しい相違である。西洋の婦人は随分活潑であらゆる運動を試みてゐるし、夏季は輕装して高山に登るといふやうにすべてが男子と同じやうに進んでゐるから、教員としても敢て男子に劣らない。西洋では所勞のため講義を休むといふことは滅多にない。これは義務の觀念が發達してゐるためでもあるか、又体格が強壯であるところが確に有力な原因である。故に婦人にして將來社會上は勿論教育上及び學術上大に發展せんとすれば、まづ學力を充實にし人格を陶冶すると同時に大に体格を強壯にしなければならぬといふ結論に到着するのである (完)

### ◎中世の心に就て

文科一部二年 荻野、山中、阿部、木村、日比野

私は中世の心に就て御話を致します。何故かゝる問題を研究する様になつたかと申しますと、僭越かも知れませんが、今西洋の學者の一部に於て現代思潮の一側面として剛健、質朴、簡單等の純一なる思想の要求がございまして、これに附隨して中世の精神の文化史的研究を生じて居る事を此の頃耳にするのでございます。我が國に於ても現代の思潮の一部に、簡單、純一、整理と云ふやうな所謂中世的精神の要求が起つて居るかも見られるのでございます。然るに歐洲中世の精神、即ちチュートン、ケルト等の民族の精神はよく我が鎌倉武士の心と似て居ります。それで私は鎌倉武士の精神を研究して中世の心を味ひたいと思ふのでございます。之れを研究するにつきましては主として精神を研究を目的といたしました爲めに、史實ばかりではなく純粹に文學的の材料をも多く基礎と致しました。それは史料としては價値を疑はれる文學的作物が、意外に國民の血管に生ける精神となつて流れて居るからでございます。

中世期の精神の特色はいろ／＼ございますが主なるものは剛健、熱烈、節操、質朴と云ふやうな例をあげて申します。

先づ剛健について申しますが、かの卑怯の名を以て世に知られて居る平維盛が頼朝追討のために